ダイセキの価値創造ストーリー

ダイセキの成長の原動力

ダイセキは、まだ「リサイクル」という言葉が一般化していなかった1958年に設立し、潤滑油の製造と廃油の再生事業に着手しました。そして1972年に産業廃棄物処理業の許可を受けて以来、「限られた資源を活かして使う」を理念に掲げて、循環型社会の構築を推進してきました。
これからも、ダイセキは環境創造企業として、社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

ダイセキグループの価値創造への歩み

油脂精製業から、石油販売、再生油精製事業へ

1945年
- 三重県三重郡に油脂精製業を創業

1958年
- 株式会社大同石油化学工業を設立

1963年
- 名古屋市港区に名古屋事業所を開設

1966年
- 北九州市小倉区に九州営業所を開設

1970年
- 石川県金沢市に北陸ダイセキ株式会社を設立

創業者　伊藤治雄

大同石油化学工業

創業期（1945年～1970年）

公害の深刻化に伴い、廃棄物処理・リサイクル事業をスタート

1972年
- 名古屋市において産業廃棄物処理業の許可取得

1973年
- 石川県松任市（現・白山市）に北陸事業所を開設

1980年
- 兵庫県尼崎市に大阪営業所を開設

1982年
- 北九州市若松区に九州事業所を開設

1984年
- 社名を株式会社ダイセキと改称
- 財団法人クリーンジャパンセンター(現・一般社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター)より、再資源化貢献企業として、会長賞を受賞

1990年
- 栃木県佐野市に関東事業所を開設

北陸事業所

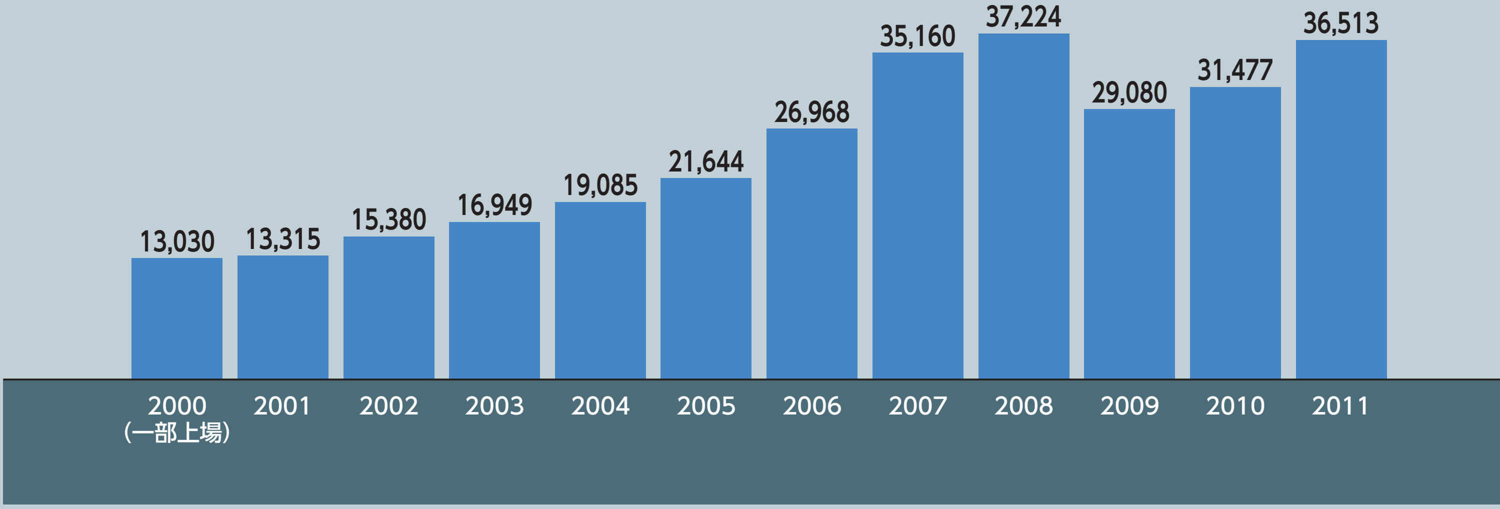
九州事業所

関東事業所

胎動期（1971年～1990年）

ダイセキ価値創造の実績

● 連結売上高（単位：百万円）



企業のさらなる成長のために株式を公開

1995年

● 株式を店頭公開

1996年

● エンジニアリング部門を分離独立して、株式会社ダイセキプラント（現・株式会社ダイセキ環境ソリューション）を設立

1997年

● 千葉県袖ケ浦市に千葉事業所を開設

1998年

● 日本海のロシア船タンカー・ナホトカ号重油流出事故の回収活動に対し、海上保安庁長官賞、海上災害防止センター長賞を受賞

● 千葉事業所がダイセキで初となるISO14001の認証取得（JQA-EM0304）

1999年

● 東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第二部に上場

2000年

● 東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部に指定替え

ダイセキ環境ソリューション

千葉事業所

ロシア船タンカー・ナホトカ号重油流出事故回収現場

東京証券取引所市場第一部に指定替え

リサイクルをキーワードにグループ展開を加速

2002年

● 兵庫県明石市に関西事業所を開設

2003年

● 第1回「誠実な企業賞」を受賞

● 「産業廃棄物と環境を考える全国大会」で伊藤博之社長が環境大臣賞（生活環境改善事業功労者賞）を受賞

2008年

● 株式会社ダイセキMCRを子会社化

2010年

● システム機工株式会社を子会社化

2011年

● 東日本大震災で復旧支援活動を実施

2021年

● 資源循環技術システム表彰の産業環境管理協会会長賞を受賞

● COP26ヴァーチャル・ジャパン・パビリオンに出展

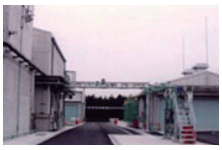
2022年

● ダイセキとダイセキ環境ソリューションが東証プライム市場、名証プレミア市場へ移行

● COP27ヴァーチャル・ジャパン・パビリオンに出展

2023年

● ダイセキ環境ソリューションが東証スタンダード市場を選択


関西事業所

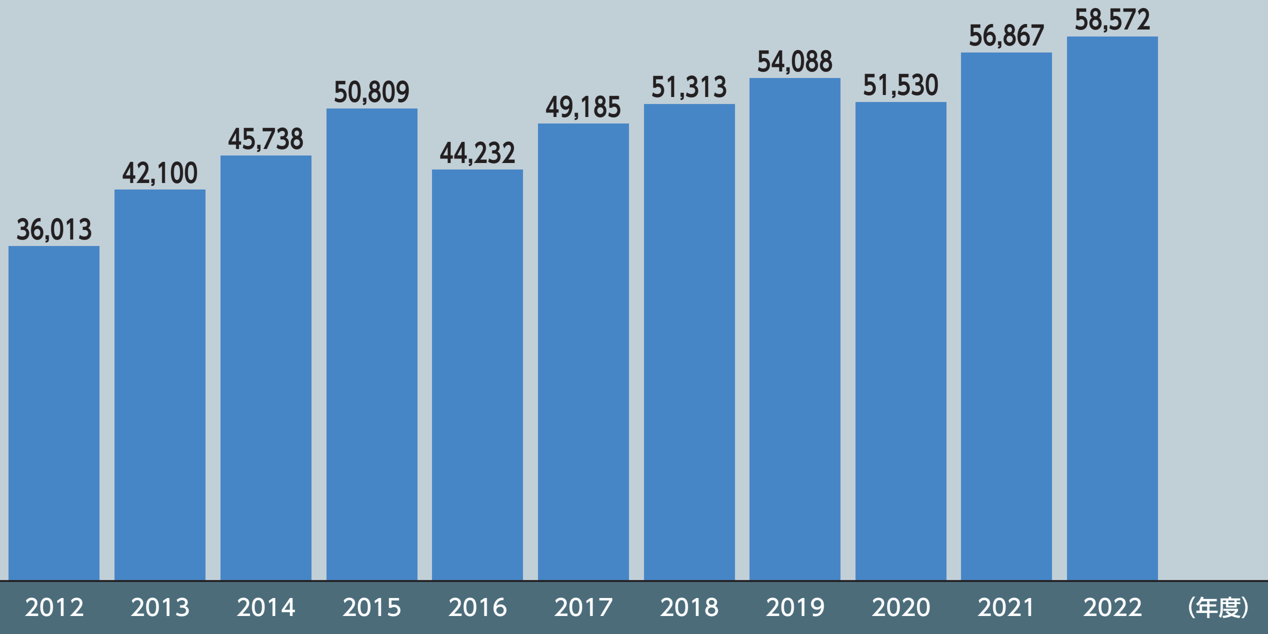
ダイセキMCR

システム機工

大震災被災地の復旧を支援

JPX PRIME TOKYO

東証プライム市場のロゴマーク

飛躍期（1991年～2000年）

発展期（2001年～現在）